

\*.\*  
地域の和食文化ネットワーク北海道(2026年1月23日号)  
\*.\*

【目次】

◆ 農林水産省の情報

1. 広報誌 Aff(あふ)1月号のテーマは、「料理人」です

◆ 北海道地域の情報

- 1. 「食べて応援！北海道」キャンペーン(北海道)
- 2. 令和7年度「旭川産さつまいも・寒締めほうれん草特別販売会」(旭川市)
- 3. 「ブリと函館真昆布の料理教室」の開催について(渡島総合振興局)

◆ 関連情報

- 1. 日本の食文化とわざの継承 EXPO(文化庁)
- 2. 「和食と健康」シンポジウム開催のご案内(和食文化国民会議)
- 3. 第5回 農研機構 食と健康の国際シンポジウム「健康と美食」(農研機構)
- 4. ミルク&ナチュラルチーズフェア 2026

☆☆

◆ 農林水産省の情報

1. 広報誌 Aff(あふ)1月号のテーマは、「料理人」です

農林水産省の広報誌 aff(あふ)2026年1月号は、「料理人」にフォーカス。日本の食や食材、食文化の素晴らしさを伝える料理人の技や想いに迫る内容です。ぜひご覧ください。

詳しくはこちら↓

・aff(あふ)1月号 | 農林水産省  
<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2601/index.html>

☆☆

◆ 北海道地域の情報

1. 「食べて応援！北海道」キャンペーン(北海道)

北海道の水産物は国内生産の約4分の1を占め、その品質は世界でも高く評価されています。しかし、近年の輸出制限などにより、道産水産物を取り巻く環境は厳しさを増しています。こうした状況を受け、道産水産物の消費拡大を通じて、生産者や加工業者を応援する取り組みである、「食べて応援！北海道」キャンペーンを展開中です。  
キャンペーンの一環として、道産水産物 PR イベントを実施しています。

【期間】令和7年(2025年)12月24日(水)～令和8年(2026年)1月31日(土)  
※海外店舗では12月18日からプレイベントを実施

- 【場所】国内外の北海道どさんこプラザ 全 22 店舗  
【内容】・道産水産物の特設コーナー等の設置  
・知事メッセージ入りポスターやチラシ(日・英)の掲示

詳しくはこちら↓

- ・「食べて応援！北海道」キャンペーン | 北海道

[https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/gid/TOH\\_campaign.html](https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/gid/TOH_campaign.html)

- ・道産水産物特設ページ「知って応援！北海道」 | 北海道

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/gid/213316.html>

☆☆☆

## 2. 令和 7 年度「旭川産さつまいも・寒締めほうれん草特別販売会」(旭川市)

旭川市では、健康寿命延伸を応援するキューピー株式会社と協働し、旭川市内ウエスタンにて「旭川産さつまいも・寒締めほうれん草特別販売会」及び SNS キャンペーンを行います。ぜひ御参加ください。

【期間】令和 8 年 1 月 24 日(土)・25 日(日)10 時 00 分～17 時 00 分

【場所】ウエスタンパワーズ(旭川市永山 12 条 3 丁目)

ウエスタン川端(旭川市川端町 7 条 10 丁目 2213-31)

スーパーアークスウエスタン北彩都(旭川市南 6 条通 18 丁目)

詳しくはこちら↓

- ・令和 7 年度「旭川産さつまいも・寒締めほうれん草特別販売会」 | 旭川市

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/364/374/382/d083070.htm>  
↓

☆☆☆

## 3. 「ブリと函館真昆布の料理教室」の開催について(渡島総合振興局)

北海道渡島総合振興局産業振興部水産課と函館農水産物ブランド推進協議会が、南かやべ漁業協同組合女性部を講師に迎え、小学校 3～6 年生とその保護者を対象に、ブリと函館真昆布を使った料理教室を開催します！

【日時】令和8年1月31日(土)10 時 00 分～13 時 00 分

【場所】函館市総合保健センター 2 階 調理実習室(函館市五稜郭町 23 番 1 号)

【申込期間】令和8年1月19日(月)から1月25日(日)

【申込方法】以下のフォームに必要事項を入力

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfeskgOAB9HEn72W2o4ktM0ZUcuZzw8TQ96p1adnfx6xIji7w/viewform>

詳しくはこちら↓

・「ブリと函館真昆布の料理教室」の開催について | 函館市

<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2025121200076/>

☆☆

◆ 関連情報

**1. 日本の食文化とわざの継承 EXPO(文化庁)**

文化庁が、2月1日(日)に、日本の食文化を支えてきた“わざ”を見て・触れて・味わって学ぶ体験型イベントを開催します。

職人の“わざ”や地域に根ざした食の知恵を体感しながら、次世代へと受け継がれる“美味しい伝統”を再発見できる多彩な展示やワークショップ、試食・販売等、世代を越えて楽しめるコンテンツが満載です。五感で感じる“日本の食のわざ”を、会場でお楽しみください。

【日時】令和8年2月1日(日)9時00分～16時00分(全館開場は10時00分より)

【場所】学校法人 大和学園 京都調理師専門学校(京都府京都市右京区太秦安井西沢町4番5)

詳しくはこちら↓

・受け継ぐ、磨く、日本の“わざ”～食文化と人をつなぐ、次世代への架け橋～ | 文化庁

[https://www.bunka.go.jp/waza\\_japans\\_cuisine\\_heritage/](https://www.bunka.go.jp/waza_japans_cuisine_heritage/)

☆☆☆

**2. 「和食と健康」シンポジウム開催のご案内(和食文化国民会議)**

一般社団法人和食文化国民会議が、「和食と健康」シンポジウムを開催いたします。

今回のシンポジウムでは、「認知症と和食の関わり」について、近年関心が高まっている認知症と日本型の食事についての講演会や、エクササイズ体験、パネルディスカッション等が実施されます。

【日時】令和8年2月9日(月)13時00分～15時40分(受付開始 12時30分)

【場所】アキバプラザ 6階 セミナールーム1(東京都千代田区神田練堀町3)

Teams ウェビナー同時配信(定員 500名)

【申込期限】令和8年1月30日(金)17時00分

【申込方法】以下のフォームに必要事項を入力

<https://washokujapan.jp/application/event/>

詳しくはこちら↓

・「和食と健康」シンポジウム開催のご案内 | 一般社団法人和食文化国民会議

<https://washokujapan.jp/info/info-20260107/>

☆☆☆

### 3. 第5回 農研機構 食と健康の国際シンポジウム「健康と美食」(農研機構)

シンポジウムでは、「健康と美食」に関する最新の研究成果を共有し、グローバルな視点から食品産業のイノベーションについて議論します。これにより、(国内外の研究機関・企業との)新たな連携を構築し、「食と健康」の産業拡大による食品産業の成長を目指します。

【日時】令和8年2月12日(木)13時00分～17時30分

【場所】イノホール&カンファレンスセンター Room-A(東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4階)

Teams ウェビナー同時配信(定員 500名)

【申込期限】令和8年2月5日(木)17時00分

【申込方法】以下のフォームに必要事項を入力

[https://prd.form.naro.go.jp/form/pub/naro01/naro\\_5th\\_isfh?\\_gl=1\\*1igoiwu\\*\\_ga\\*MTAwMTQ5MDk0NC4xNzY4NzgwOTAy\\*\\_ga\\_7LKJ8GGK67\\*\\_czE3NjkwNjQ2NjQkbzMkZzEkdDE3NjkwNjQ2NzQkajUwJGwwJGgw](https://prd.form.naro.go.jp/form/pub/naro01/naro_5th_isfh?_gl=1*1igoiwu*_ga*MTAwMTQ5MDk0NC4xNzY4NzgwOTAy*_ga_7LKJ8GGK67*_czE3NjkwNjQ2NjQkbzMkZzEkdDE3NjkwNjQ2NzQkajUwJGwwJGgw)

詳しくはこちら↓

・第5回 NARO 食と健康の国際シンポジウム | 農研機構

<https://www.naro.go.jp/event/naro-symposium/2026/index.html>

☆☆☆

### 4. ミルク&ナチュラルチーズフェア 2026

北海道各地の乳業メーカーやチーズ工房が一堂に集まる「ミルク&ナチュラルチーズフェア 2026」が開催中です。会場では多彩なチーズを始めとした牛乳・乳製品の販売はもちろん、農業高校の取り組み紹介や、牛乳・乳製品の楽しみ方を提案するステージ PR など、ミルク&チーズの魅力を学んで味わえる企画が盛りだくさん。生産者の思いに触れながら、北海道の豊かなミルク文化を体感できるイベントです。

ぜひこの機会に、お気に入りの一品を見つけにお出かけください。

【日時】令和8年1月21日(水)～25日(日)10時30分～19時30分(最終日は17時00分まで)

【場所】丸井今井札幌本店 大通館9階催事場(北海道札幌市中央区大通西2丁目2)

詳しくはこちら↓

・ミルク&ナチュラルチーズフェア 2026 | ミルク&ナチュラルチーズフェア 2026 事務局

<https://mcfair.jp/sapporo/>

☆☆

## 北海道の郷土料理

### = 越冬野菜 =

「越冬野菜」とは、文字どおり冬の寒さや雪を利用して保存された野菜のことを指します。

越冬性の植物は、気温の低下を感知すると凍結耐性を高める「低温馴化(ていおんじゅんか)」をおこし、糖やアミノ酸を蓄積する性質を持ちます。

蓄積された糖やアミノ酸は、タンパク質や細胞が破壊されるのを防ぐ役割を果たすと同時に、越冬野菜ならではの甘みや旨味を生み出し、栄養価も高めてくれます。

キャベツ・大根・人参・ジャガイモなど、雪や土の中などの低温環境でじっくりと熟成した野菜は、1～3月頃に掘り出され、春を迎える前に出荷されます。

甘みが増し、栄養豊富な旬の越冬野菜、真冬の食卓にいかがでしょうか。

☆☆☆

### 【地域の和食文化ネットワーク北海道事務局】

ご感想、ご意見、ご要望、お問い合わせ、配信停止は当メールにご返信ください。

窓口:北海道農政事務所 生産経営産業部 事業支援課

住所:札幌市中央区南 22 条西 6 丁目 2-22 エムズ南 22 条第 2 ビル

電話:011-330-8810

<本省の Web サイト(和食文化ネットワーク)>

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

<北海道農政事務所の Web サイト>

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/>

<その他>

北海道農政事務所や農林水産省では、このほかにもメールマガジンを発行しております。

配信をご希望される方は、ご登録をお願いします。

・北海道農政事務所メールマガジン

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/index.html>

・本省メールマガジン

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>